（別添資料１）

事業所名　てらぴぁぽけっと 新宮中央駅教室

支援プログラム（参考様式）

作成日　2025 年　1 月　25 日

法人（事業所）理念		療育と教育の融合と、そのバランスを図ることを目指します。 お子さまに内在する支援のヒントを探し、優しくセラピーを行います。 発達スケールと照らし合わせて、お子さまを目標とする位置へ導きます。			
支援方針		多角的なアセスメントからお子さまの今を受け止め、将来への見通しを立てていきます。 就学に向けて絶対に切り離せない集団性を習慣として行っていきます。 独自に設けているお子さまの発達ステップ（825項目）を組み合わせ、マンツーマンで取り組みます。			
営業時間		9 時　0 分から　18 時　0 分まで	送迎実施の有無	あり　(なし)	
		支　援　内　容			
本人支援	健康・生活	食事・排泄・着脱・身支度といった基本的な生活スキル獲得に向けた練習を行っていきます。 (例：スプーン・お箸などの持ち方・使い方、鉛筆の練習、洋服を脱ぐ・着る・畳むといった一連の流れをできるようにサポート等) 時計を意識したプログラムにより、自主的に次の活動に向けた準備をするなどの支援を提供していきます。			
	運動・感覚	立位・座位での姿勢や姿勢保持を目指した練習をおこなっていきます。 筋力向上をめざしたプログラムも行い、身体の大きな使い方から始め、徐々に指先などの小さい部位まで身体をコントロールできるような運動遊び等を取り入れていきます。 ビジョントレーニングを通して眼球運動の力を養い、「見る力」や「意識する力」などの集中力も伸ばしていきます。			
	認知・行動	名詞・動詞・助詞の理解を促し、文章構成能力の向上も目指したプログラムを実施していきます。 数の概念や数字理解、平仮名や単語・文章、話の順序を考えるといった能力の向上を目指したプログラムもおこなっていきます。 他者からの視点も練習していくことで、問題行動等の防止・減少を目指していきます。（物の見え方、自己と他者の気持ち、力の感じ方・コントロール等）			
	言語 コミュニケーション	言葉の明瞭性向上、語彙数の増加、適切な言葉の使い方・伝え方を獲得できるようなプログラムを実施していきます。 児童が自身の要求を言葉やジェスチャーで表現できるように練習し、コミュニケーションの楽しさを伝えていく支援を取り入れていきます。 視覚的な支援も取り入れ、児童にとって最適と感じられるコミュニケーション手段を模索し、状況に応じて使い分けることができるような練習をおこなっていきます。			
	人間関係 社会性	お友達との関りを促し、関わることの楽しさを伝えながら、他者を意識する練習をおこなっていきます。 関りを通じて社会性の成長を促し、自己理解や役割分担、他者と自己との違いを伝えていきます。 児童ごとの気持ちの切り替え方法を模索し、どのような場面であっても切り替えができるように練習をしていきます。（予定の見通し、時計の提示、呼吸法、声掛けの仕方等）			
家族支援		毎回の児童の様子をお伝えし、家庭や保育園等での児童の様子の情報共有等を重視していきます。児童の困り感についても常時相談を受け付け、保護者との相談・面談も行います。対面での面談だけでなく、オンラインでの面談にも対応も可能です。	移行支援	個別→小集団→集団と、就学に向けた支援を常に検討していきます。 必要に応じて学校等と連携し、サポートブックの作成などにも努めています。	
地域支援・地域連携		保育園・幼稚園等と随時、情報共有を行い、それぞれの環境での児童に合わせた対応方法を検討していきます。また、事業所ー保育園等での間でそれぞれの見学の機会を設け、より個別化した支援を組み立てていく手立てとしていきます。	職員の質の向上	応用行動分析（ABA）の専門家から基礎理論を学び、実践までを含む研修を全職員が必ず受講しています。感染症・リスクマネジメント・防災・虐待防止・事故防止の研修を毎年実施しています。	
主な行事等		季節や月ごとの制作を主として、夏祭りやクリスマスなどのイベントも開催していきます。 制作例：絵馬づくり、七夕飾り　等　　行事例：縁日（手作りのお金でお買い物体験）等			